

留学だより その1(2017年2月～3月分)

経済学部 3年 岸里現輝

台湾に来てから一ヶ月が過ぎました。徐々にこちらの生活にも慣れ始めてきています。私はこの留学が初めての海外生活になるので、台湾に来る前は不安でいっぱいでした。しかし国際教育センターの方々や様々な先生方のご指導のおかげで、今こうして留学ができていることに心から感謝しています。

私が留学の準備で一番大変だったことはビザの取得です。ビザ申請の為に健康診断書を提出する必要がありましたが、いくつかの手違いが起こってしまい診断書の取得に多くの時間を要してしまいました。早めに書類の準備を進めるように指導を受けていましたが、今思い返すともっと余裕を持って準備を進めることができたのではないかと思います。正式にビザを取得したのは出発二日前でした。それまでは本当に行けるか不安でしたが、取得した瞬間は心から安堵したことを今でも覚えています。もし淡江大学へ長期の留学を考えている学生がいましたら、早めに国際教育センターの方に相談をすることをお勧めします。

淡江大学の寮では様々な国から来た留学生が生活をおくっています。会話は基本的には英語と中国語で行われています。私のルームメイトはインドネシア人とインド人の学生です。二人ともとても親切で、特にインドネシア人の学生は私と同じように今学期からの留学ということもありすぐに意気投合し、ご飯を食べに行ったり、夜市というお祭りに出かけたりもしています。以前インド人の英語には癖があるということを私は聞いたことがありました。そして初めてインド人のルームメイトと会話をした時、私は「What's your name?」を聞き取れませんでした。絶望的でした。(笑)

これから共に生活をしていけるだろうか、と不安にかられていました。一ヶ月経った今では以前より彼の英語を聞き取れるようになり会話もできています。

今の世界にはネイティブではない人が英語を使っている割合のほうが多いので、この経験はとても貴重だと感じています。



寮の周りにはたくさんのお店があり、コンビニやスーパーマーケット、携帯ショップや美容室などがあります。その中でも私が一番驚いたことは飲食店の多さです。日本と同じような構造のお店もありますが、屋台を少し大きくしたような作りのお店が台湾には多いです。というのも、台湾の一般的な家庭では料理を作ることは滅多にないそうです。そのため外食をする機会が多いので台湾には多くの飲食店があるのだそうです。お店の中で食べる事もできますが、お持ち帰りをする人のほうが多いです。私も弁当を買って持ち帰り、寮のロビーでみんなと一緒に食べています。食事の値段は安いお店だと二百円くらいでお腹が満たされます。

大学の授業は週に四回の中国語の授業の他に経済学、全英語で行われるビジネスの授業、そして中国文化と国際経済の授業を受けています。中国語の授業は初めに受けるスピーキングとライティングのテストによってクラス分けされます。私は中級のクラスなのですが、先生の話す中国語が早いので集中していないと聞き逃しています。また、簡体字と繁体字の違いもあり漢字が読めないことがあるので、予習や復習は欠かせないです。宿題も毎回の授業ごとにあり、わからない問題はルームメイトと協力したり、台湾人の学生に聞いたりしています。

週末になると、みんなで観光に行ったり、台北や士林の夜市に行ったりします。回転寿司や牛角にも行きました。回転寿司の味は日本とほぼ変わりなくとても美味しいですが、おいなりさんの上にピーナッツを乗せた寿司や、二つのしゃりの上に三つの玉子焼きが乗っていたりと日本ではなかなか見られないようなお寿司もあり楽しかったです。以前、友人達と屋台のようなお寿司屋さんに行った時に、わさびが大量に塗られたお寿司を食べました。日本では考えられないような量です。(笑)私はわさびが好きなので食べることができましたが、寿司を初めて食べた外国人の友人は一口食べた瞬間にトイレに駆け込んでしまいました。そして友人は私に対して、「日本人はこんなにクレイジーな食べ物を食べているのか?！」と言いました。(笑)私は彼に、この寿司は日本の寿司とは違うことを説明しました。今度彼を回転寿司に連れていきたいと思います。台湾には多くの名所旧跡があり、まだまだ行ってみたい場所がたくさんあるのでこの留学で全ての場所に行ってみたいと思います。一年間という期間をどう使うかは自分の意識や行動しただと思うので、時間を大切に目標に向かって進んでいきます。

